

# 世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業

## 百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産登録 に向けての博物館の使命

- ☆世界文化遺産登録への機運醸成
- ☆仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群の紹介
- ☆世界文化遺産ガイダンス機能の一翼



## 古墳とその時代にスポットをあてた特別展(3か年計画)の開催

### H30 企画展「堺に窯がやってきた！ー古墳時代・海外交流の軌跡ー」(仮称)

泉北の陶邑窯跡群出土資料(重要文化財を含む)を中心に、当時の先進技術やそれをもたらした海外交流のようすを紹介する。

### H31 特別展「古墳ー巨大墓にエネルギーを投じた時代」(仮称)

古墳築造に費やされた莫大なエネルギーと、そこに起こった技術革新を中心に古墳と古墳時代を紹介する。

### H32 特別展「墓を造るー人類史と巨大墓ー」(仮称)

日本の「古墳」のように世界各地で造られた巨大モニュメントともいえる「墓」を紹介し、人はなぜこのような巨大建造物を造ったのかを考えるとともに、道具や技術の歩みも紹介し、日本の古墳を世界史的視点で考察する。



平成30年度予算要求額 18,131千円



## 古代常設展示 の充実

現在の古代常設展示に、仁徳天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、ニサンザイ古墳、御廟山古墳等、現存する巨大古墳に関する展示を、関係各機関の協力を得て展示を充実させる。